

第2章 温室効果ガス排出量の現況推計

1. 社会特性

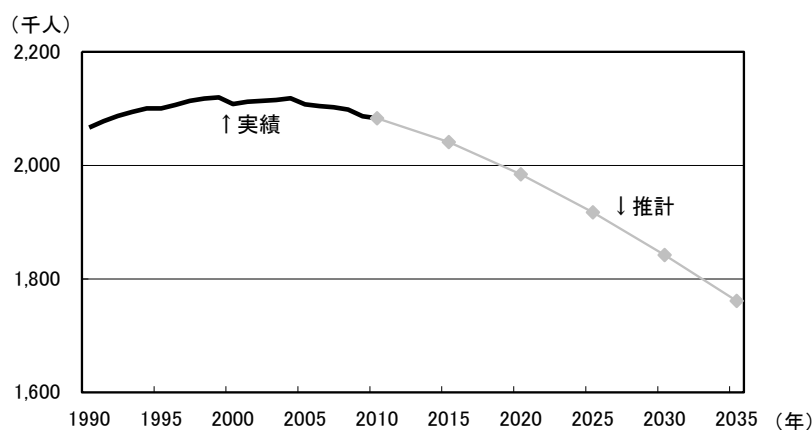
地球温暖化対策の取組みを進めるにあたっては、自然的社会的条件に応じた施策が求められます。ここでは、岐阜県の温室効果ガスの排出・吸収に関連する人口、産業等の概要を示します。

(1) 人口・世帯数

岐阜県の人口は1997（平成9）年から2005（平成17）年まで、210万人前後のなだらかなピークを迎え、以降、減少に転じています。2008（平成20）年の人口は2,098,131人で、1990（平成2）年の2,066,569人より1.5%増加しています。

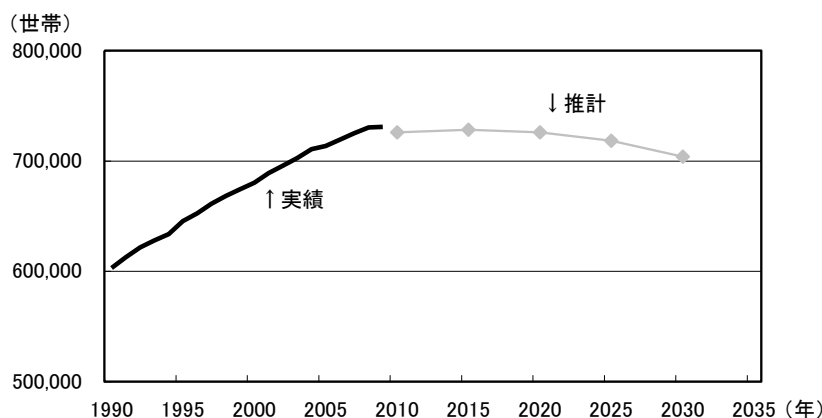
岐阜県の世帯数は、単身世帯の増加などにより増加を続け、2008（平成20）年は730,388世帯と1990（平成2）年の602,906世帯と比べ21.1%増加しています。推計によると、世帯数は2015（平成27）年頃なだらかなピークを迎え横ばいに転じます。

図表 2-1：人口の推移と将来推計



出典：実績 総務省統計局「国勢調査」、岐阜県「岐阜県人口動態統計調査」
推計 国立社会保障・人口問題研究所「日本の都道府県別将来推計人口」（2007（平成19）年5月推計）

図表 2-2：世帯数の推移と将来推計

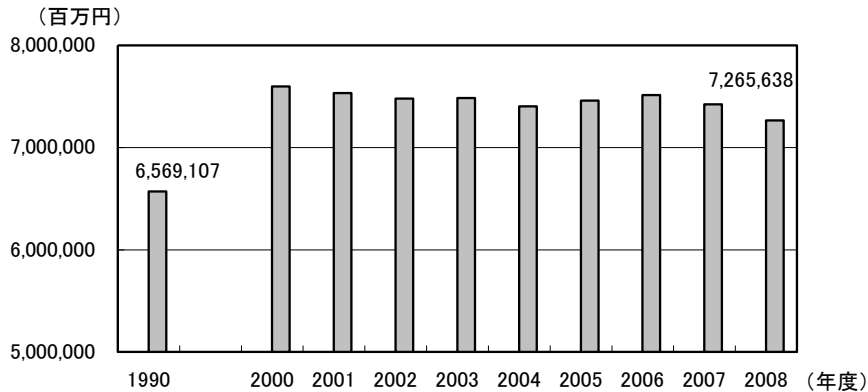


出典：実績 総務省統計局「国勢調査」、岐阜県「岐阜県人口動態統計調査」
推計 国立社会保障・人口問題研究所「日本の世帯数の将来推計（都道府県別推計）」（2009（平成21）年12月推計）
なお、推計は、一般世帯数の推計値に2005（平成17）年の全世帯数（実績）/一般世帯数（推計）の比率を乗じ、実績と参照

(2) 岐阜県内総生産

岐阜県内総生産（名目）は、2000（平成12）年度以降は、ゆるやかな減少傾向にあり、2008（平成20）年度の7兆2,656億円で、国内総生産に占める割合（シェア）は1.5%です。2008（平成20）年度の県内総生産は、1990（平成2）年度の6兆5,691億円と比べ10.6%増加しています。

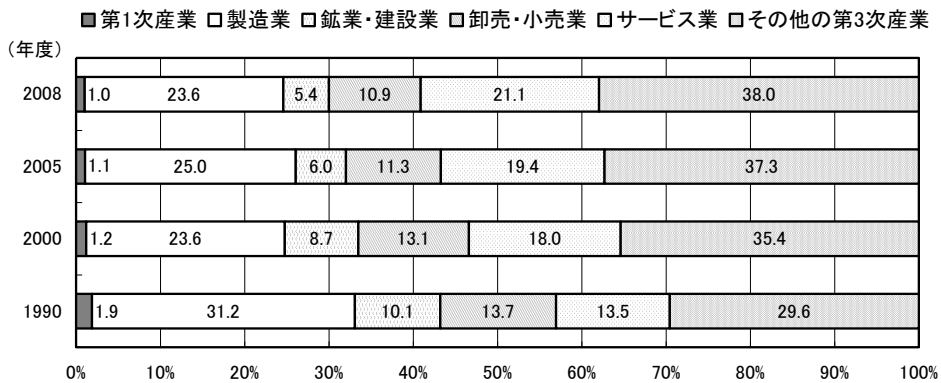
図表 2-3：県内総生産の推移



出典：内閣府「県民経済計算結果」

岐阜県内総生産（名目）の業種別割合をみると、製造業は1990（平成2）年度から2000（平成12）年度に大きく減少し、以後、ほぼ横ばいとなっています。鉱業・建設業及び卸売・小売業は、減少傾向にあります。一方、サービス業及びその他の第3次産業は増加傾向にあります。

図表 2-4：県内総生産の業種別割合の推移



出典：岐阜県「岐阜県統計書」

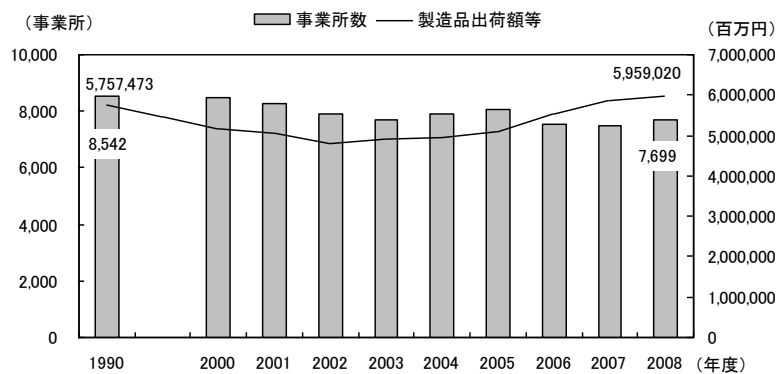
(3) 製造業の事業所数と製造品出荷額

岐阜県の2008（平成20）年度の事業所数（4人以上の事業所）と製造品出荷額等は、7,699事業所、5兆9,590億円で、1990（平成2）年度の8,542事業所、5兆7,575億円と比べると、事業所は約10%減少しています。

2008（平成20）年度の製造品出荷額等に占める割合が高い業種は、輸送用機械器具製造業（15.4%）、生産用機械器具製造業（8.3%）、プラスチック製品製造業（8.1%）、金属製品製造業（7.4%）、窯業・土石製品製造業（7.1%）の順で、これら上位5業種で全体の約46%を占めています。

中小事業所（従業員300人未満）は、事業所数で全体の約99%、製造品出荷額等で全体の約60%を占めています。

図表 2-5：事業所数及び製造品出荷額等の推移

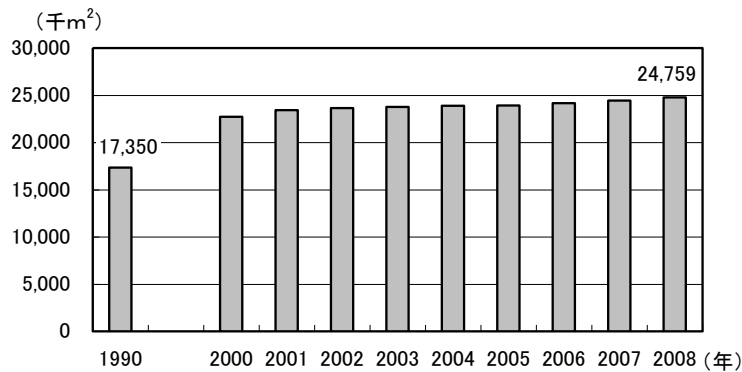


出典：岐阜県「岐阜県統計書」

(4) 業務系建物の延床面積

岐阜県の事務所、店舗、学校など業務系建物の延床面積は、2008（平成20）年では24,759千㎡で、1990（平成2）年の17,350千㎡と比べ約40%と大幅に増加しています。事務所、小売店舗等の延床面積が増加しています。

図表 2-6：業務系床面積の推移



出典：岐阜県「市町村税の統計」、「岐阜県統計書」、総務省「公共施設状況調」、財務省「国有財産一件別情報」、経済産業省「商品販売統計年報」、「商業統計表」、厚生労働省「衛生行政報告例」等

(5) 温室効果ガス削減などに関連する岐阜県の特徴

岐阜県の温室効果ガス排出量の削減や森林吸収に関連する、その他の特徴としては、次の事項が挙げられます。

図表 2-7：温室効果ガス排出量の削減や森林吸収量に関連する岐阜県の特徴

| 項目 | 特徴 | 出典 |
|--------------------------|--|---|
| 日照時間 | 岐阜地方気象台（岐阜市）における年間日照時間は、2,086 時間です。これは全国 56 気象官署のうちで 5 番目に長い時間となっています。 | 1971-2000 年 平均値 気象庁「日本気候表」 |
| 水力エネルギー量 （包蔵水力※） | 岐阜県の包蔵水力は、13,539GWh です。これは全国で 1 番大きい値となっています。 | 平成 16 年 3 月 31 日現在 資源エネルギー庁ホームページ |
| 森林面積割合 | 岐阜県の森林面積割合は 81.7% です。これは全国平均の 67.4% よりも高く、全国で 2 番目に高い値となっています。 | 平成 19 年 3 月 31 日現在 林野庁 「森林資源現況調査」 |
| 持ち家住宅率 | 岐阜県の持ち家住宅率は、73.9% です。これは全国平均の 61.1% よりも高く、全国第 5 位となっています。 | 平成 20 年 10 月 1 日現在 総務省 「住宅・土地統計調査」 |
| 自家用乗用車 世帯当たりの 普及台数 | 岐阜県の世帯当たりの自家用乗用車の普及台数は、1,655 台です。これは全国平均の 1,080 台よりも多く、全国第 4 位となっています。 | 平成 22 年 3 月 31 日現在 自動車検査登録情報協会 ホームページ |

※ 技術的・経済的に開発可能な発電水力資源の量。

2. 岐阜県の温室効果ガス排出量

(1) 温室効果ガス排出量の推移

岐阜県の2008（平成20）年度の温室効果ガス排出量（速報値）は、1,645万t-CO₂で、1990（平成2）年度と比較して6.2%減少しています。

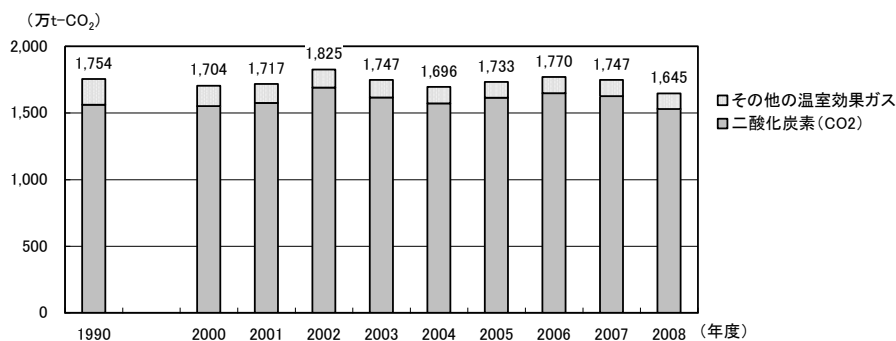
2008（平成20）年度の岐阜県の温室効果ガス排出量は、全国の排出量の1.3%を占めています。

図表 2-8：岐阜県の温室効果ガス排出量の推移（単位：万t-CO₂）

| | 1990年度 | 2000年度 | 2005年度 | 2008年度 速報値 | 2008年度 1990年度比 |
|-------------------------|--------|--------|--------|---------------|-------------------|
| 二酸化炭素(CO ₂) | 1,562 | 1,551 | 1,615 | 1,529 | -2.1% |
| その他の温室効果ガス | 193* | 153 | 118 | 117 | -39.4% |
| 合計 | 1,754 | 1,704 | 1,733 | 1,645 | -6.2% |

*1990年度の「その他の温室効果ガスの排出量」のうち、ハイドロフルオロカーボン、パーフルオロカーボン、六ふっ化硫黄は1995年度の値とします。（以下同様）。

注）端数処理のため、内訳と合計が合わない場合があります。

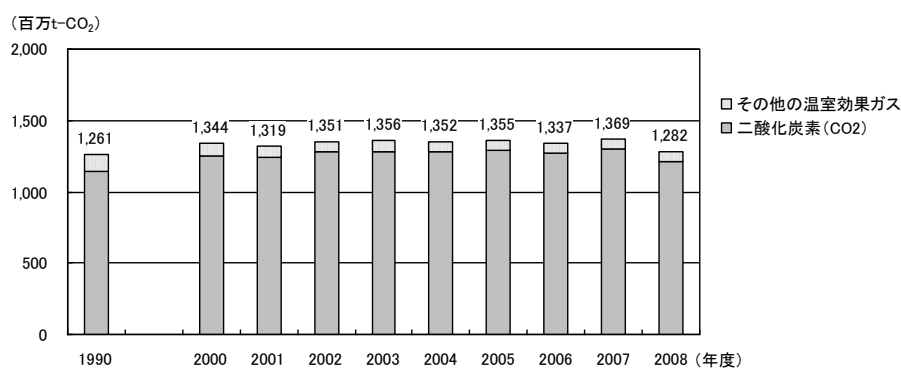


図表 2-9：全国の温室効果ガス排出量の推移（単位：百万t-CO₂）

| | 1990年度* | 2000年度 | 2005年度 | 2008年度 | 2008年度 1990年度比 |
|-------------------------|---------|--------|--------|--------|-------------------|
| 二酸化炭素(CO ₂) | 1,144 | 1,254 | 1,286 | 1,215 | 6.2% |
| その他の温室効果ガス | 117 | 90 | 69 | 67 | -42.7% |
| 合計 | 1,261 | 1,344 | 1,355 | 1,282 | 1.6% |

*1990年度の欄は、基準年の値を示します（以下同様）。

注）端数処理のため、内訳と合計が合わない場合があります。

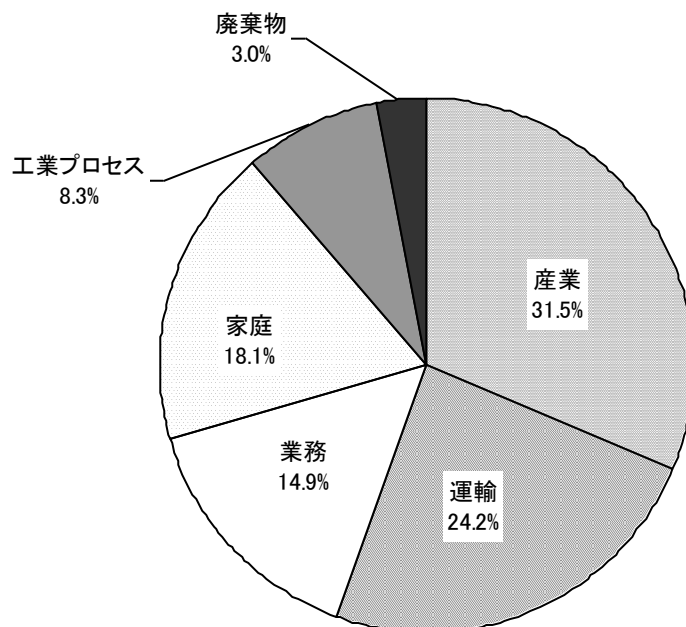


出典：環境省ホームページ

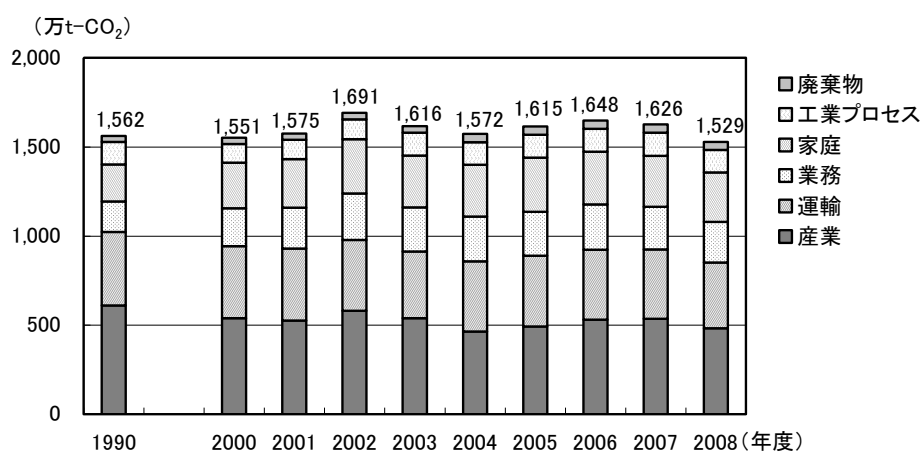
(2) 二酸化炭素(CO₂)の部門別排出量

岐阜県の2008（平成20）年度の二酸化炭素排出量を部門別にみると、産業部門(31.5%)が最も多く、次いで運輸部門(24.2%)、家庭部門(18.1%)、業務部門(14.9%)の順となっています。

図表 2-10：岐阜県の二酸化炭素(CO₂)排出量の部門別割合



図表 2-11：岐阜県の二酸化炭素(CO₂)排出量の部門別推移



二酸化炭素排出量の推移を部門ごとにみると、2008（平成 20）年度と 1990（平成 2）年度比は、家庭部門、業務部門及び廃棄物部門で 30%以上の増加となっています。

一方、排出量に占める割合の高い産業部門、運輸部門では、それぞれ、20%、10%程度の減少となっています。

図表 2-12：岐阜県の二酸化炭素(CO₂)排出量の部門別推移

(単位：万 t-CO₂)

| 部 門 | 1990 年度 | 2000 年度 | 2005 年度 | 2008 年度 速報値 | 2008 年度 1990 年度比 |
|----------|---------|---------|---------|----------------|---------------------|
| 産業部門 | 610.9 | 538.3 | 492.6 | 481.4 | -21.2% |
| 運輸部門 | 411.7 | 404.5 | 396.4 | 369.8 | -10.2% |
| 業務部門 | 171.0 | 212.1 | 246.6 | 228.1 | 33.4% |
| 家庭部門 | 208.3 | 257.0 | 304.6 | 277.0 | 33.0% |
| 工業プロセス部門 | 125.4 | 103.6 | 128.0 | 127.0 | 1.3% |
| 廃棄物部門 | 34.4 | 35.1 | 46.4 | 45.3 | 31.7% |
| 合計 | 1561.7 | 1550.7 | 1614.6 | 1528.6 | -2.1% |

産業部門、運輸部門、家庭部門、業務部門から排出される二酸化炭素は、燃料や電気などのエネルギーの消費に伴って発生するもので、エネルギー起源二酸化炭素と呼ばれます。工業プロセス部門、廃棄物部門から排出される二酸化炭素は、製品の生産過程や、廃棄物の焼却に伴って発生するもので、非エネルギー起源二酸化炭素と呼ばれます。

各部門の特徴は、次のとおりです。

① 産業部門

岐阜県の 2008（平成 20）年度の二酸化炭素排出量の 31.5%を占め、そのうち製造業からの排出が約 89%となっています。

二酸化炭素排出量は、1990（平成 2）年度と比較して 21.2%減少しています。

② 運輸部門

岐阜県の 2008（平成 20）年度の二酸化炭素排出量の 24.2%を占め、そのうち自動車による排出が約 97%となっています。自動車からの二酸化炭素排出量のうち、燃料のガソリンに由来するものが約 60%を占めています。

二酸化炭素排出量は、1990（平成 2）年度と比較して 10.2%減少しています。

③ 業務部門

岐阜県の 2008（平成 20）年度の二酸化炭素排出量の 14.9%を占めています。電気、ガス（都市ガス、プロパンガス）、灯油等の消費に伴って排出されます。

二酸化炭素排出量は、1990（平成 2）年度と比較して 33.4%増加しています。

④ 家庭部門

岐阜県の 2008（平成 20）年度の二酸化炭素排出量の 18.1%を占めています。電気、ガス（都市ガス、プロパンガス）、灯油の消費に伴って排出されます。

二酸化炭素排出量は、1990（平成 2）年度と比較して 33.0%増加しています。

⑤ 工業プロセス部門

岐阜県の 2008（平成 20）年度の二酸化炭素排出量の 8.3%を占めています。生石灰やセメントの製造に伴い発生する避けられないものです。

二酸化炭素排出量は、1990（平成 2）年度と比較して 1.3%増加しています。

⑥ 廃棄物部門

岐阜県の 2008（平成 20）年度の二酸化炭素排出量の 3.0%を占めています。廃プラスチックや廃油等の化石燃料由来の廃棄物の焼却に伴って発生します。

二酸化炭素排出量は、1990（平成 2）年度と比較して 31.7%増加しています。

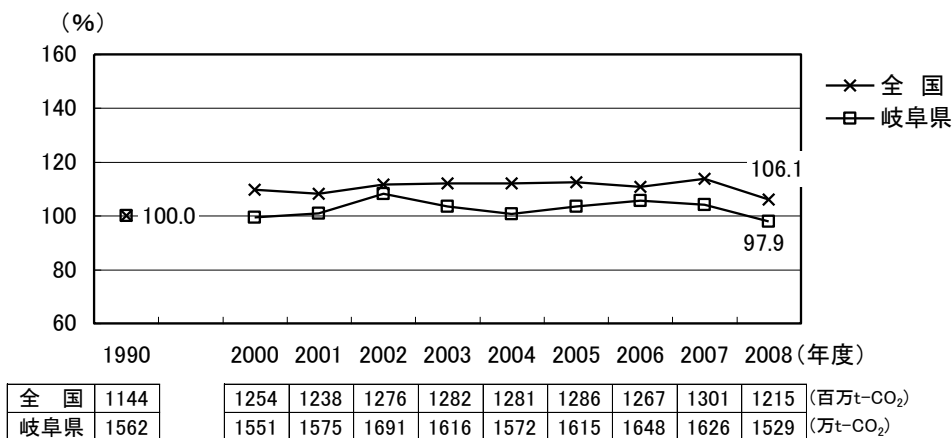
3. 全国との比較

(1) 二酸化炭素(CO₂)排出量の推移

全国の2008(平成20)年度の二酸化炭素排出量は、12億1,500万t-CO₂であり、1990(平成2)年度と比較して6.2%増加しています。二酸化炭素排出量の推移は、1990(平成2)年度からは増加傾向にあったものの、近年は横ばいとなっています。また、2008(平成20)年度は、2007(平成19)年度より6.6%と大きく減少しています。これは、世界的な景気後退の影響によるものと考えられます。

岐阜県の2008(平成20)年度の二酸化炭素排出量は、1,529万t-CO₂であり、1990(平成2)年度と比較して2.1%減少しています。各年の変動があるものの、1990(平成2)年度からおおむね横ばいとなっています。

図表 2-13 : 全国及び岐阜県の二酸化炭素(CO₂)排出量の推移



※グラフは、1990(平成2)年度の二酸化炭素排出量を100とした推移

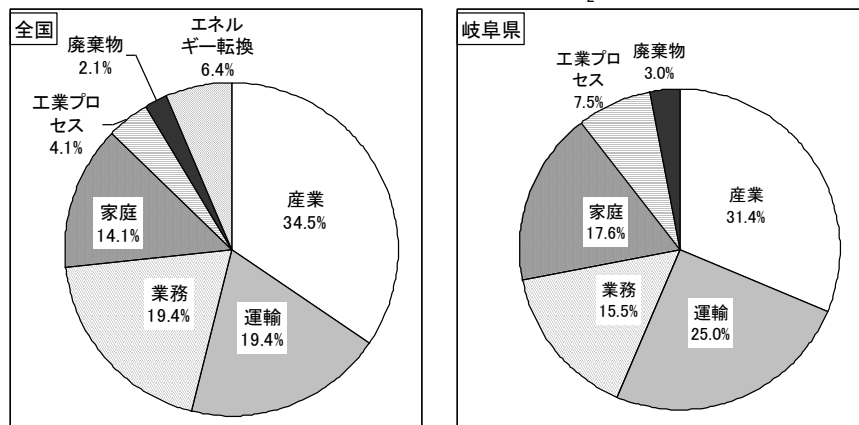
出典：全国のは、環境省ホームページ

(2) 二酸化炭素(CO₂)排出量の部門別割合

全国の2008(平成20)年度の二酸化炭素排出量の部門別割合は、産業部門が34.5%で最も多く、次いで、運輸部門、業務部門がともに19.4%となっています。

岐阜県の2008(平成20)年度の二酸化炭素排出量の部門別割合は、産業部門が31.4%で最も多く、次いで運輸部門25.0%、家庭部門17.6%となっています。

図表 2-14 : 全国及び岐阜県の二酸化炭素(CO₂)排出量の部門別割合



出典：全国のは、環境省ホームページ

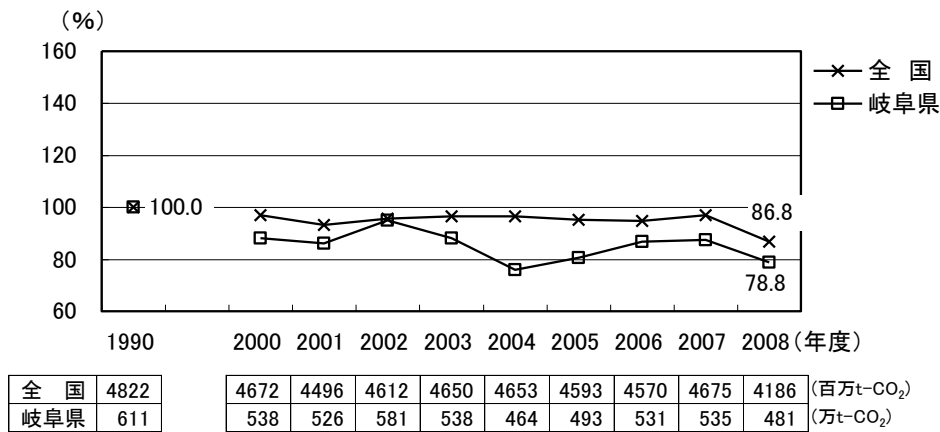
(3) 二酸化炭素(CO₂)の部門別排出量の推移

① 産業部門

2008（平成 20）年度の全国の産業部門の二酸化炭素排出量は、1990（平成 2）年度と比較して 13.2%減少しています。また、2008（平成 20）年度は、2007（平成 19）年度より 10.4%減少しています。

2008（平成 20）年度の岐阜県の産業部門の二酸化炭素排出量は、1990（平成 2）年度と比較して 21.3%の減少となっています。

図表 2-15：全国及び岐阜県の産業部門の二酸化炭素(CO₂)排出量の推移



※グラフは、1990（平成 2）年度の二酸化炭素排出量を 100 とした推移

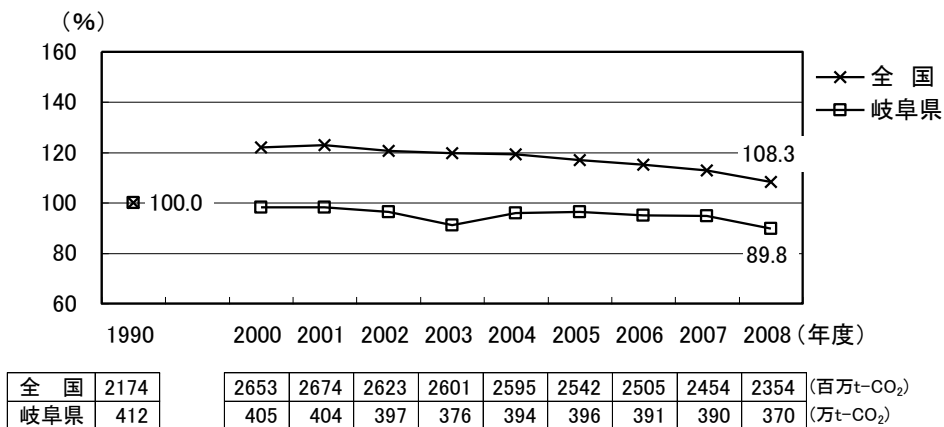
出典：全国の値は、環境省ホームページ

② 運輸部門

2008（平成 20）年度の全国の運輸部門の二酸化炭素排出量は、2001（平成 13）年度をピークとして減少に転じていますが、1990（平成 2）年度と比較すると 8.3%増加となっています。

2008（平成 20）年度の岐阜県の運輸部門の二酸化炭素排出量は、ゆるやかな減少傾向にあり、1990（平成 2）年度と比較して 10.2%の減少となっています。

図表 2-16：全国及び岐阜県の運輸部門の二酸化炭素(CO₂)排出量の推移



※グラフは、1990（平成 2）年度の二酸化炭素排出量を 100 とした推移

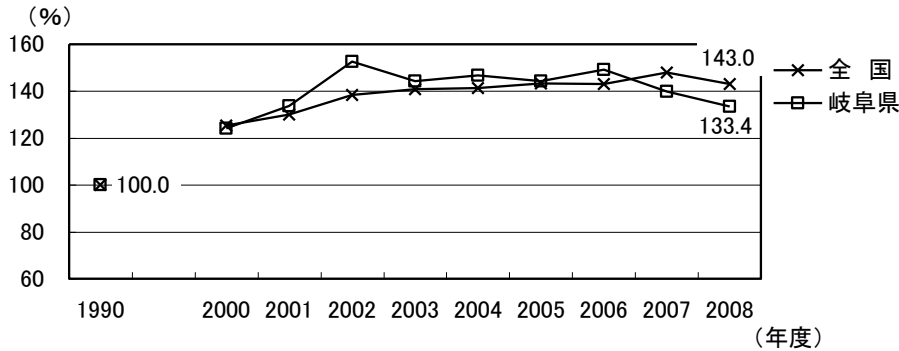
出典：全国の値は、環境省ホームページ

③ 業務部門

2008（平成 20）年度の全国の業務部門の二酸化炭素排出量は、1990（平成 2）年度と比較して 43.0%と大幅に増加しています。また、2008（平成 20）年度は、2007（平成 19）年度より 3.4%の減少となっています。

2008（平成 20）年度の岐阜県の業務部門の二酸化炭素排出量は、近年減少傾向にありますが、1990（平成 2）年度と比較すると、33.4%と全国と同様に大幅に増加しています。

図表 2-17：全国及び岐阜県の業務部門の二酸化炭素 (CO₂) 排出量の推移



| | | | | | | | | | | | |
|-----|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------------------------|
| 全 国 | 1643 | 2061 | 2136 | 2274 | 2316 | 2322 | 2356 | 2349 | 2430 | 2350 | (百万t-CO ₂) |
| 岐阜県 | 171 | 212 | 229 | 261 | 247 | 251 | 247 | 255 | 239 | 228 | (万t-CO ₂) |

※グラフは、1990（平成 2）年度の二酸化炭素排出量を 100 とした推移

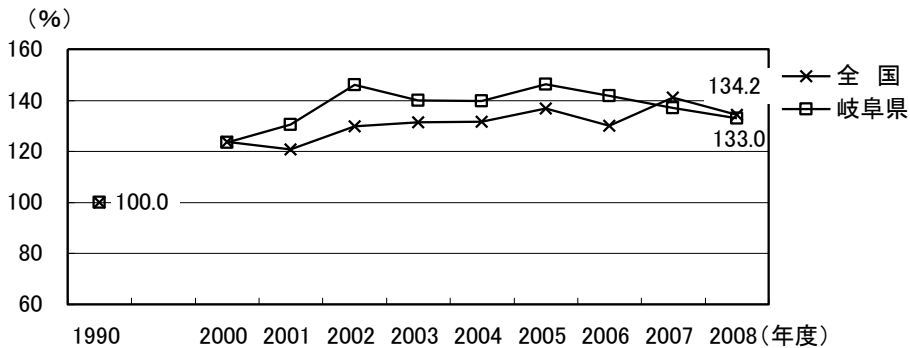
出典：全国のは、環境省ホームページ

④ 家庭部門

2008（平成 20）年度の全国の家庭部門の二酸化炭素排出量は、1990（平成 2）年度と比較して 34.2%と大幅に増加しています。また、2008（平成 20）年度は、2007（平成 19）年度より 2.8%の減少となっています。

2008（平成 20）年度の岐阜県の家庭部門の二酸化炭素排出量は、近年減少傾向にありますが、1990（平成 2）年度と比較すると、33.0%と全国と同様に大幅に増加しています。

図表 2-18：全国及び岐阜県の家庭部門の二酸化炭素 (CO₂) 排出量の推移



| | | | | | | | | | | | |
|-----|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------------------------|
| 全 国 | 1275 | 1575 | 1537 | 1654 | 1675 | 1676 | 1742 | 1658 | 1798 | 1710 | (百万t-CO ₂) |
| 岐阜県 | 208 | 257 | 272 | 304 | 291 | 291 | 305 | 295 | 285 | 277 | (万t-CO ₂) |

※グラフは、1990（平成 2）年度の二酸化炭素排出量を 100 とした推移

出典：全国のは、環境省ホームページ